

第47回全国特別支援教育センター協議会研究協議会（川崎市大会）

第1分科会（教育相談）

高等学校における通級指導の充実に向けた取組

兵庫県立特別支援教育センター

発表内容

- 1 兵庫県の取組
- 2 兵庫県立特別支援教育センターの取組
- 3 課題と今後の方向性

## 兵庫県がめざす特別支援教育

『兵庫県特別支援教育第三次推進計画』

キーワード：『縦横（タテヨコ）連携』

**I 連続性のある多様な学びの場における教育の充実**

～すべての学校園で取り組みつなぐ特別支援教育～（縦の連携）

**II 連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実**

～早期から卒業後へ支えつながる特別支援教育～（横の連携）

## 兵庫県 高等学校における通級による指導

兵庫県立高等学校の通級による指導実績

	R1	R2	R3	R4	R5
自校通級 実施校数	12校	14校	17校	20校	21校
巡回指導 実施校数	－	1校	3校	10校	18校

## 兵庫県 高等学校における通級による指導

### 令和5年度 対象生徒の状況

課程学科	1年	2年	3年	4年	合計 9月11日現在
全日制普通科	14	22	22		58
全日制専門学科	7	20	6		33
全日制総合学科	1	8	7		16
全日制国際科	1				1
定時制普通科	9	29	21	13	72
定時制職業科			1	2	3
合計 (昨年度比)	32 (+1)	79 (+19)	57 (+17)	15 (+8)	183

## 兵庫県 高等学校における通級による指導

### 令和5年度 重点的取組

どの高等学校に進学しても通級による指導が受けられる体制づくり

- ・但馬モデルを参考にした、7つの地区での地域連携モデルの構築
- ・地域の高等学校における通級による指導の理解啓発
- ・地域の高等学校での特別支援教育の理解にもとづく指導の充実
- ・通級指導担当教員育成のための校内体制づくり

## 兵庫県 高等学校における通級による指導

### 令和5年度 取組

#### 〈地域連携モデルの構築〉 〈理解啓発〉

- ・地域連携協議会の開催（7地区、年3回）

#### 〈指導の充実〉

- ・実施校訪問指導（県北部、南部 各1回）
- ・合同研究会（7地区、年2回）

## 兵庫県立特別支援教育センターの取組

### 兵庫県立特別支援教育センターについて

R5.4.1 神戸市から加東市（兵庫県立教育研修所）へ移転

研修業務：兵庫県立教育研修所 特別支援教育研修課  
教育相談：兵庫県立特別支援教育センター

## 兵庫県立特別支援教育センターの取組

- I 教員研修（兵庫県立教育研修所 特別支援教育研修課）
  - (1) 年次研修  
(初任、2年、3年、5年、中堅、15年)
  - (2) 担当者研修 [13講座]  
(新担、**通級**、リーダー)
  - (3) 選択研修 [13講座]  
(特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応)
  - (4) サポート研修  
(出前研修)

## 兵庫県立特別支援教育センターの取組

- I 教員研修（兵庫県立教育研修所 特別支援教育研修課）
  - (2) 担当者研修
    - イ 通級指導教室担当教員等研修
      - ① 小学校における通級指導講座(全2回)
      - ② 中学校における通級指導講座(全2回)
      - ③ **高等学校における通級指導講座(全2回)**

## 兵庫県立特別支援教育センターの取組

「高等学校における通級指導講座」全2回

受講者87名

(高等学校教員58名、特別支援学校教員29名)

第1回(7/7) 内容：講義、実践発表、協議

第2回(2/7) 内容：講義、演習、協議

## 兵庫県立特別支援教育センターの取組

「高等学校 次世代コーディネーター育成講座」全2回

受講者157名

(全高等学校(神戸市立除く)から1名)

第1回(VOD研修)6/12 内容：講義動画2本

第2回(集合研修)2/7 内容：講義、実践発表、協議

## 兵庫県立特別支援教育センターの取組

### 2 教育相談（兵庫県立特別支援教育センター）

- (1) 兵庫県立特別支援教育センター教育相談
- (2) ひょうご学習障害相談室

対象：乳幼児、幼児児童生徒及びその保護者・教育関係者  
相談方法：個別相談（来所、電話、オンライン）

## 県立特別支援教育センターの取組

### 2 教育相談（兵庫県立特別支援教育センター）

- (3) 「ひょうご専門家チーム」派遣

学校からの要請により、教育・医療・心理の関係者から成る「専門家チーム」から相談員を派遣し、幼児児童生徒の支援や教員への教育相談等、学校園等に対する支援を行う。

## 課題と今後の方向性

### 1 課題

- ・教職員の専門性の向上
- ・通級担当者の育成と継承

## 課題と今後の方向性

### 2 今後の方向性

- 研修の見直し
- ・受講者の経験年数等に応じた講座編成及び内容
  - ・学校での実践に効果的な実施時期及び実施回数